

開催予告 「ひょうご安全の日のつどい」「災害対応力を身につけよう!!」を開催します

1月17日は「ひょうご安全の日」「防災とボランティアの日」です。阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し災害に備えるため、当支部では「ひょうご安全の日のつどい」に参加し、兵庫県赤十字奉仕団の皆さんが、豚汁の炊出しを行い来場者に無料配布します。

また、2月にはひょうご安全の日推進事業の一環として「災害対応力を身につけよう!!」を開催し、楽しみながら災害対応力が身につくイベントを実施します。ぜひご来場ください。(小雨決行・荒天中止)

ひょうご安全の日のつどい

- 炊出し**
- 日時 1月17日(金) 13:00~15:00
場所 なぎさ公園(神戸市中央区脇浜海岸通り)
内容 豚汁の炊出し(600食)
※なくなり次第終了
- 救急法
ミニ講習**
- 日時 1月17日(金) 10:00~12:00、14:00~15:00
場所 なぎさ公園南西側岸壁付近(防災訓練時のテント内)
内容 AEDを使った心肺蘇生

災害対応力を身につけよう!!

- 日時 2月16日(日) 12:00~14:00
※10:30からの総合訓練は見学可能です。
場所 兵庫県立北条高等学校
(加西市段下町847-5)
内容 AEDを使った心肺蘇生、三角巾を使ったきずの手当、担架搬送、無線通信、非常食の無料配布、ゲームなど

青少年赤十字 青少年赤十字提供プログラム(12月実施校)

青少年赤十字提供プログラムは、救急法や点字の体験、災害救護活動や海外救護活動などの講演を、特別赤十字奉仕団などのご協力を得ながら、青少年赤十字加盟校で楽しく、分かりやすく、お伝えします。

生命の大切さやボランティアの心を養い、人としてのやさしさを育むために、赤十字の提供プログラムをご利用ください。

- 健康・安全プログラム
高砂市立松陽中学校
兵庫県立川西明峰高等学校
甲陽学院中学校
兵庫県立星陵高等学校
兵庫県立伊川谷北高等学校

- 健康生活支援講習
親和中学校



兵庫県立川西明峰高等学校

救急法等の講習 講習のご案内 ~健康で安全な生活を送る知識と技術を~

急病や不慮の事故から身を守り、大切な人のいのちを救うための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか?

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るための手助けができるよう、救急法等の普及活動に努めています。

内容	開催日
救急法救急員養成講習(2日間)	2月15日(土)・16日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(3日間)	2月 2日(日)・ 8日(土)・ 9日(日) 3月 1日(土)・ 2日(日)・ 8日(土)
水上安全法(4日間)	2月 1日(土)・ 2日(日)・ 8日(土)・ 9日(日)
健康生活支援講習(3日間)	2月13日(木)・20日(木)・27日(木)
こどもに起こりやすい事故の予防と手当	3月11日(火)
こどもの一次救命処置	3月11日(火)
骨折の手当と搬送法	3月11日(火)

◇講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。
◇詳細及びその他の講習についてはホームページで。



パソコンから

赤十字 兵庫

<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字

2014 JANUARY 1 月



- 活動資金にご協力ください
- 平成26年新春メッセージ
- 「海外たすけあい募金」を実施
- 赤十字救急法ミニ講習会を開催
- 赤十字防災ボランティア実践研修会を開催
- 「ひょうご安全の日のつどい」「災害対応力を身につけよう!!」を開催します
- 青少年赤十字提供プログラム(12月実施校)
- 講習のご案内



【写真説明】④海外たすけあい街頭募金(JR姫路駅) ⑤赤十字防災ボランティア実践研修会(ロープワークの様子) ⑥赤十字救急法ミニ講習会

活動資金にご協力ください

~皆さまのご支援が、いのちと健康を守る活動を支えています~

地域の皆さまの安全・安心を図るため「街角の赤十字」として兵庫県内の警察署、交番等755ヶ所に設置している救急箱とあわせ、平成23年度からは7カ年計画で140台のAEDを警察署等に設置するなど、皆さまからお寄せいただいた資金はいのちと健康を守る皆さまの身近な活動に活かされています。



郵便振込で

口座番号:01110-0-1136
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(窓口振込により手数料は免除されます)



銀行振込で

銀行名:三井住友銀行神戸営業部
口座番号:普通口座8527478
口座名義:日本赤十字社兵庫県支部
(振替課まで専用振込用紙をご請求ください。)



お電話で

◇活動資金に関するお問合せ
078-241-8921
(兵庫県支部 振興課)



日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ごあいさつ 平成26年新春メッセージ ～安全元気ふるさと兵庫の実現～



新年あけましておめでとうございます。

わが国経済は、円高是正を背景に輸出産業を中心に明るさが出てきました。この動きを地方や中小企業へと広げ、持続可能な発展につなげていかねばなりません。人口減少や少子化、高齢化への対応、地域経済の再生、地震・風水害への備えなど、取り組むべき課題は明らかです。今こそ、これまでに培ってきた力を結集し、兵庫から成熟社会にふさわしい新たなモデル構築をめざし、挑戦していくときです。

一つには、安全安心の確保です。震災20周年に向けて、改めて兵庫の経験と教訓を発信するとともに、地震・津波・風水害対策に万全を期します。また、社会インフラの長寿命化や高齢者の地域見守りの充実など、暮らしの基盤を確かにします。

二つには、人、地域、産業の元気づくりです。若者の就業支援をはじめ、女性、高齢者、障害者の社会参画を促進するとともに、大河ドラマ「軍師官兵衛」のスタートを契機として内外の交流を拡大します。産業イノベーションの創出や農林水産物のブランド化に取り組み、産業力を強化します。

三つには、ふるさと兵庫づくりです。ふるさとへ誇りと愛着を育み、地域と歩む人々とともに、多様性を活かした兵庫らしい地域づくりを進めます。そのためにも、地方分権改革と行財政改革の着実な推進が欠かせません。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが、その翌年には関西マスターズゲームズ2021が開催されます。豊かな自然・歴史・文化が息づき、多様な産業が躍動し、そして人々がいきいきと活動する「安全元気ふるさと兵庫」を実現し、世界へ発信していこうではありませんか。

ふるさとの 未来の課題を 乗り越えて 安全元気の 地域をつくる



支部長／兵庫県知事

井戸敏三



海外たすけあい 「海外たすけあい募金」を実施

～たすけあいを、忘れない。～



12月1日(日)～25日(水)の期間、海外たすけあい募金を実施しました。「海外たすけあい」は災害や紛争、飢餓や病気などで苦しむ人々を救うために日本赤十字社がNHKと共同で実施している募金キャンペーンです。

期間中の毎週土日、県内の主要駅前8カ所で街頭募金を行い、ボランティアの皆さん、青少年赤十字加盟校や看護専門学校、職員等、延べ256人が募金を呼びかけました。厳しい寒さの中、元気のいい呼びかけに小さい子どもから大人まで道行く方々にたくさんのご協力をいただきました。

皆さんから寄せられた心のこもった募金は、自然災害をはじめとする様々な状況下で世界の苦しむ人々のために使われます。

お寄せいただいた募金総額は、次号でご報告させていただきます。



募金風景(JR垂水駅)

救急法等の講習 赤十字救急法三二講習会を開催

～あなたにも救えるいのちがある～



11月30日(土)、ブルメール舞多間で赤十字救急法三二講習会を開催し、子どもから大人まで合計64名の方々に参加いただきました。

「AEDを使ってみよう!～救命手当をいっしょに学んでみませんか?～」と題したこのイベントは、一般市民の方々への一次救命処置の普及啓発を目的とし、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使い方を体験していただいています。

親子での参加が多く、子どもたちも一生懸命指導員の話聞き積極的に胸骨圧迫などに挑戦していました。「もしも、家族の誰かが倒れたら今日学んだ事を思い出して助けてね」と子どもに話すお母さん、「胸骨圧迫は思った以上に力があるから大変」、「AEDを使えてよかった」と話される方など参加者からたくさん声を聞くことができました。

また、会場には赤十字活動の紹介パネルや救援物資などの展示、子ども用の救護服・ナース服の試着体験コーナーを設置。多くの方々にご来場いただきました。



上手に胸骨圧迫できてるよ。その調子!



たくさんの方に来場いただきました



はいポーズ☆試着体験コーナーも大人気!

赤十字奉仕団 赤十字防災ボランティア実践研修会を開催



12月14日(土)、兵庫県支部で平成25年度第2回赤十字防災ボランティア実践研修会を開催しました。本研修会は、災害発生時に支部が行う災害救護活動を支援してもらうため、ボランティアセンターの運営、救護所の設営、炊出し、無線通信やこころのケアなど、赤十字防災ボランティアとして活動するために必要な知識や技術の習得、ニーズに合わせてさまざまな活動ができることを目的に年2回開催しています。

今回の研修会では、赤十字防災ボランティアリーダー、サブ・リーダー9名が中心となり、赤十字防災ボランティア17名が参加して、ボランティアセンターの運営、大型釜を設置して非常食と味噌汁の炊出し、テント設営とロープワークを実施。ボランティアセンターの運営は、7階大会議室で運営側とボランティア役に分かれ、来年2月16日(日)に実施する赤十字防災ボランティア総合訓練「災害対応力を身につけよう!!」の事前確認的内容も含めて、講義と受付・登録・派遣のシミュレーションを行いました。

また、テント設営では、最高気温8.1℃と大変寒い中、なぎさ公園にテント4張を運搬し設営・撤収訓練を行いました。強風のため予定時間を早めての撤収となりました。参加したボランティアは熱心に取組んでいました。



大釜の組み立て



息を合わせてテントの設営